



みなみいず 町議会だより

No. **104**号
2026年
令和8年.2.1

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail:gikajj@town.minamiizu.shizuoka.jp



2026年初日の出～大瀬から撮影

主な内容

- 議長新年の挨拶 2
- 一般会計・特別会計・公営企業会計補正予算 3
- 令和7年12月議会定例会採決一覧表 4
- 一般質問・意見書・臨時会・視察研修・議会報告会・議会改革推進会議 5～13
- 未来を担う子ども達、議会一口メモ、くろ潮 17



新年の挨拶



南伊豆町議会議長 比野下 文男

明けましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。また、日頃より町議会活動に対して温かいご支援、ご協力を頂きまして心から感謝とお礼を申し上げます。

昨年10月には昭和30年7月、南賀六ヶ村が合併し、町民の大きな期待のもとにわが町が誕生し70周年記念式典が執り行われ、新たな南伊豆町として、一步を踏み出しました。

議会では議会基本条例が議員発議により上程され、全議員賛成で可決し、令和7年11月1日から施行されました。今後は、条例を指針として議会活動の透明性を高め、町民の声を真摯に受け止めることで南伊豆町の発展に貢献してまいります。

昨年11月26日には湯けむりホールにて第1回目の議会報告会を開催し、意見、要望及び質問があり、議員側より回答し、充実した報告会でした。

今後は定期的に活動報告会を実施し、町民の代表として議会の聴く・動くの活動が町の発展と町民福祉の向上に結びつくよう努めてまいります。

昨年末には青森県東方沖で震度6強の地震が発生し、多くの被災者の皆様が厳冬の中、生活されていると思うと、一刻も早く平穏を取り戻すことを願うばかりです。

伊豆半島沖地震から既に50年が経過しておりますが、地震の発生メカニズムは中々困難と言われています。これからも通常の生活を続けながら、**日頃からの備えを再認識し、命を守る行動を忘れることなく、共に助け合いましょう。**

令和8年は午年です。観光・水産業等にまだまだ勢いがありますが、**丙午**は町民一人一人の活力が外に大きく広がっていくと言われてしています。皆さんの生活に欠かせないガソリンの価格が下がってきました。今年の産業・経済の上昇が**ウマ**くいく事を希望しております。

結びにあたり、皆様方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、新年の挨拶いたします。

一般会計・特別会計・公営企業会計補正予算可決

■ 一般会計

…………… 7,611万4千円

主
な
内
容

- 総務費…………… 4,799万3千円
- 民生費…………… 1,738万8千円
- 衛生費…………… △1,780万2千円
- 農林水産業費…………… 208万3千円
- 商工費…………… 2,788万4千円
- 土木費…………… △1,140万8千円
- 教育費…………… △990万5千円

■ 特別会計…………… 154万4千円

主
な
内
容

- 介護保険…………… 154万4千円

■ 公営企業会計

…………… △422万9千円

主
な
内
容

- 公共下水道事業会計…………… 1,178万8千円
- 漁業集落排水事業会計…………… 12万5千円
- 水道事業会計…………… △1,614万2千円

※公営企業会計は収益的支出と資本的支出の合計を記載しています。

12月定例会を12月2日～3日の会期で開催しました。

定例会の内容は人事の同意案1件、条例改正6件、補正予算（一般会計、特別会計、公営企業会計3件）、その他、発議1件を可決・同意しました。一般質問には5人が登壇しました。（5～9ページ参照）

令和7年12月議会定例会採決一覧表

No.	議案番号	提出議案	審議結果	安藤 広和	岩田 稔	大年 美文	黒田 利貴男	渡邊 哲	宮田 和彦	長田 美喜彦	稲葉 勝男	清水 清一	齋藤 要
1	議第97号	南伊豆町固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めることについて	原案同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	議第98号	南伊豆町附属機関設置条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
3	議第99号	南伊豆町特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
4	議第100号	南伊豆町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	議第101号	南伊豆町税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議第102号	南伊豆町後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	議第103号	南伊豆町農地中間管理機構関連農地整備事業に係る特別徴収金に関する条例制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議第104号	令和7年南伊豆町一般会計補正予算（第6号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	議第105号	令和7年度南伊豆町介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	議第106号	令和7年度南伊豆町公共下水道事業会計補正予算（第2号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	議第107号	令和7年度南伊豆町漁業集落排水事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	議第108号	令和7年度南伊豆町水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	発議第5号	静岡県立下田高等学校南伊豆分校の存続を求める意見書	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 反対：×

※議長 比野下文男は採決に加わっておりません。

●一般質問 町長に聞きました



黒田利貴男 議員

学校部活動の地域クラブへの移行について

質問 現在の南伊豆町の部活動の現場と統合後の方向性についてお伺いをします。

教育長 中学校統合に向けた諸課題の解決及び新たな南伊豆中学校のスムーズな船出を第一に取り組んでいる状況です。

質問 課題となるようなことは発生していないか。

教育長 教員が顧問・指導者となっており、外部指導者の問題があります。

質問 費用負担の増加についてお伺いをします。

教育長 様々な課題が多いことから具体的な検討には至っておりません。

質問 地域格差については。

教育長 受皿となる団体、指導者、費用面などでの課題の影響が強く、検討が進みにくい状況となっております。



石廊崎オーシャンパークの管理と環境整備について。

質問 魅力ある石廊崎を表現するためには、管理主体が3つあるのは問題ではないか。

町長 指定管理者と協議し、適切な管理に努めてまいります。

質問 イベント広場の管理は。

町長 本件につきましても、指定管理者と協議・調整し景観維持に努めてまいります。

質問 駐車場までの引込みの道路除草について。

町長 定期的な管理のほか、イベント開催時期を踏まえた対応についても、適切な管理手法について検討してまいります。

質問 景観を守るための環境整備について。

町長 的確な松枯れ防止施策を実施するとともに、計画的な枯れ松の伐採等を実施し、歩行者の安全確保と景観整備に努めてまいります。

質問 一元管理の考えは。

商工観光課長 基本協定または年次協定に管理料等を盛り込み、調整を進めてまいりたいと思います。鳥獣害については随時対応してまいります。

質問 松枯れ対策は。

地域整備課長 確実な駆除対策を継続して進めてまいりたいと考えております。

南伊豆分校閉校について

質問 令和11年度閉校の事前

説明はあったのか。

教育長 賀茂地区県立高等学校におけるキャンパス制の導入の一つの項目として説明がありました。

質問 南伊豆町の町長として、今この問題についてどのように捉えているか。

町長 今回の進め方については、やはり唐突過ぎたなというところが一番です。この決定というのは国や県の施策に逆行するのではないかというふうに私は思いました。これが決定したとは私は思いませんので、やれることはしっかりとやっていきたいと思っております。

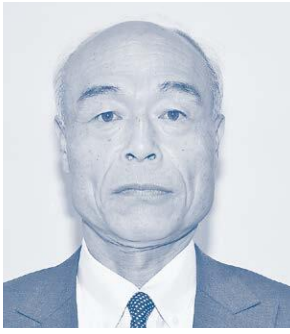
質問 南伊豆分校魅力化推進協議会で協議されてきた内容等について。

教育長 同校の閉校などに関する事項については、協議会内では行われてはおりません。

質問 存続のための協議や要望が必要ではないかと思うのですが、その考えは。

町長 賀茂地域や南伊豆分校後援会、町民や議員の皆様からのご意見を踏まえ、必要に応じた検討を行ってまいります。

教育長 賀茂地域の子供たちが地理的不利な状況を理由として望んだ教育を受けることができなくなることはないよう引き続き要望していくとともに、県教育委員会とも一層の連携を図りながら本町の教育環境の充実に取り組んでまいります。



大 年 美 文 議員

防災対策について

質問 昨年度配備したスポットクーラー等がありますが、これを12台そのまま地域防災計画の備品の管理状況を見ると、三坂地区防災倉庫に全て配備されています。これが実際に現況に即しているのかなというのを感じます。本来であれば、避難所等になる学校体育館等に常備できないものかと考えますが、いかがでしょうか。

町長 迅速なる避難所開設が求められるほか少数要員での準備作業などを考慮しますと必要最小限の資機材については、避難所施設への事前配備が必要であると認識しておりますので、避難所施設となる各学校との調整の上、校内の空きスペースを確保し、避難所受付セット、トイレ消耗品セット、スポットクーラーなどについて事前配備を進めてまいります。

質問 危機管理の意識という事で前回の9月定例会の予算決算常任委員会の際に町長はいろいろ出張も多い。令和6年度については70件、恐らく宿泊を伴うものもあるで

しょうから5日に1日ぐらいは町内に不在になると訳ですが、7月30日のカムチャッカ半島近辺で地震が有り警報が発令されたときに、南伊豆町には警報は発令されなかったですけれども、あのとき町でも避難所を開設しています。その時はやはり防災課を通じて町長に連絡を取って避難所の開設を実施したのか。その辺の経緯が分かればお示ください。

防災課長 当日は、注意報が発令された時点で、町長は外出していました。遠くなかったので連絡をして庁舎に戻っていただき、緊急の庁議を開催し避難所の開設を決定しています。



都市提携及び交流自治体間の事業実績について

質問 都市提携及び交流自治体間の事業実績の中で、交流自治体とか姉妹都市だけに限るわけではないですが、できればこちらから訪問するだけではなく、相手方からも来ていただいてそちらでもPRしてもらい近隣の自治体にもPRしていただき、南伊豆町へお客さまに来ていただくよう

になる可能性があるのではないかと思います。その辺で何かイベントを実施するような考えはありますか。

商工観光課長 先日のキャンペーンでは「うちの息子が南伊豆に移住しました」というので寄っていただき「この間、私も南伊豆のほうに行ってきたわ」とお知らせをいただくなど、少なからずですけれども効果は出ていると感じているところです。

新年度予算編成について

質問 新年度予算編成についてという事で伺います、来年度示達の優先項目、それから方向性、というものが有ればお示ください。

町長 私から優先順位というところはございません。まずは今ある公共インフラの維持管理に多大なる費用がかかるということ、それからこれからはしっかり町を前に進めるためにやるべきこと、これにはしっかり予算をつけようということやっております。





岩田 稔 議員

石廊崎オーシャンパークの多目的広場について

質問 イベントが行われる時に雨が降ると足場がぬかるみ、来場者や出店者にとってとても不便になります。この事について改善のお考えがあるかお答え下さい。

町長 芝生広場は自然公園法の園地事業の許可を受け、自然環境に配慮した緑地公園として整備されたものでありますので雨天等のぬかるみを解消するための舗装等は、現時点で予定しておりません。

英語表記の観光案内地図について

質問 南伊豆町はこれからインバウンドのお客様を積極的に取り込む必要があります。英語表記の案内地図は必須アイテムと考えますがどのようなお考えがあるかお答え願います。

町長 増加するインバウンド需要に対応すべく、ようこそ南伊豆町への他言語版について検討してまいります。この

場合、紙ベースがいいのかスマホ上で見られるのがいいのかを踏まえて検討していきたいと思っています。



伊豆下田カントリークラブについて

質問 2026年1月4日をもってしてゴルフ場の経営を休業する事になったが、今後の跡地利用の計画はあるのかお答え願います。

町長 伊豆下田カントリークラブではゴルフ場としての運営の意思のある事業継承先を懸命に探しておりますが、現時点では見つかっていないと聞いております。今後については地権者、施設所有者間で協議を進めながら、引き続きゴルフ場として運営する事業継承先を探すとのことです。

夜桜流れ星のイベント開催について

質問 こういったイベントは人手が必要だと考えますが予算は足りていますか？人の手配は十分でしょうか？お答え願います。

町長 夜桜流れ星開催経費と

して補助金500万円を計上しておりましたが、観客の安全を確保するための交通整理員を増員する必要が生じた事から、75万2,000円の追加の補正予算を審議していただき、総額575万2,000円になる見込みでございます。

質問 イルミネーションに500万円、夜桜流れ星に575万円、合計1,000万円以上の税金を投入することから、やはりそこは成果、結果を求められるのは当然ではないでしょうか？

町長 議員のおっしゃる通りかと思えます。税金を使って何か事業をやるのであれば、それが町にとって町民にとって利益をもたらすということが大前提と考えております。トライ&エラーも大事ですのでであれば、その成果が出せなかったのはなぜかを検証して課題を解決してまた挑戦する、そして成功させるということが重要と思えます。当局だけでなく観光協会、民間の方、議員さん達と色々な意見を交わしながら1つの事業、それぞれの事業を成功させて利益をもたらすことができると考えております。





渡邊 哲 議員

南伊豆中学廃校後の利活用について

質問 南伊豆中学廃校後の利活用について当局の考えをお聞かせください。

町長 現時点では放課後児童クラブが現存の南中小学校から場所を移し、1階の4教室とグラウンドの使用を予定しているほか、一部が津波浸水域で老朽化が進んでいる旧南崎認定こども園に保管する防災資材および公文書等の移動も検討しています。その他静岡県生活衛生局薬事課から、南伊豆地区医薬品等備蓄センターの移転先として打診をうけています。また救護所については、災害時に医療関係者が集まり、負傷者の応急処置やトリアージなどを行うための救護所設置場所に定めており変更はございません。

※放課後児童クラブの開設場所については、防犯対策も含め、総合的に判断した結果、令和8年度以降も南中小学校にて開設することとなりました。

質問 学校へ通じている道路について地震の際に損傷をお

こすことが懸念されますがいかがお考えでしょうか。

防災課長 私もそのへんは危ないのではないかと考えて、検討したいと思います。

質問 当局のお考えはわかりましたが、そのほかにも利活用について、町民の皆様と話し合いをする機会はありませんか。

町長 放課後児童クラブと倉庫でほとんど校舎はいっぱいになるのではないのでしょうか。そのほか何か事業をやるようなスペースはないように思われますが、まず庁舎内で意見を聞いて、できることがあれば検討します。体育館は今までどおり使用可能です。



町営住宅について

質問 町営住宅の現状と今後についてお聞かせください。

町長 町営住宅については、蝶ヶ野に1戸、加納に10戸、中木に12戸、上賀茂に16戸の39戸を開設しております。入居状況は蝶ヶ野および加納に各1世帯、中木に7世帯、上賀茂に15世帯が入居しています。蝶ヶ野、加納に

については耐用年数が経過し老朽化が著しいため入居者がゼロとなった点で廃止を予定しております。中木のB棟4戸につきましても塩害を含む老朽化が著しいため、入居者募集を停止し、補助金にかかる適正化法等の規制期間が満了となった時点で解体を視野に検討しております。一方中木A棟および上賀茂住宅については老朽化に伴う損傷箇所の修繕に加え、居住性向上、バリアフリー化のほか、防犯性の向上などにも取り組みながら、計画的な改修による長寿命化を図っております。

地域整備課長 耐震化につきましては昭和56年5月の建築確認基準となりますので、蝶ヶ野住宅と加納住宅については耐震がないので募集は行なっていません。中木住宅は昭和50年の建築ですが、平成14年に耐震補強工事を行い、上賀茂住宅は、平成6年と7年の建築でございますので耐震性はあるということになっています。





清水 清一 議員

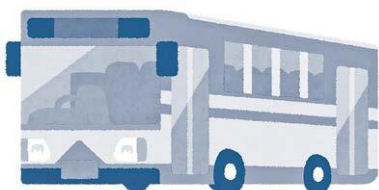
教育行政の取組

質問 中学校統合の進捗状況で一條地区から通学についての要望書が来ました。町はどう考えているのか。

教育委員会事務局長 先月26日に要望書を頂き現在内容を精査し検討を進めている。一條地区のみにスクールバスを展開するのは、他の地区にも交通困難区域があり、そちらとの公平性も検討しながら進めていく。

質問 南上地区からの子供は、バスを乗り換えて学校に通うと聞きましたが。

教育委員会事務局長 統合により下賀茂から日野のバス停間は一部乗車定員を上回ることが予想され、また、一部は下賀茂で乗換えが必要、南上方面の生徒を上賀茂バス停から東中学校入り口までスクールバスでの送迎を予定しています。



質問 県が下田高校南伊豆分校を5年後に無くしてしまうよと。町としてこのことをどう考えているのか。

教育長 分校は、県立の高等学校です。本町の権限に属するものではなく、私とその在り方を論ずることは控えるべきであると認識しており、今回の閉校という決定に関しましては、非常に残念である。

質問 10月に県が来て、町長、教育長へ報告したと。

県からの^{かんこうれい}箝口令。この1か月の間に考えておくことが必要であったのでは。

教育長 新聞発表は11月5日で、1か月ありました。県がその間、南伊豆町は南伊豆分校がある町なので、先駆けて知らせてくれた。町のほうで先に知ったから動こうというわけには考えが及びませんでした。

町長 11月5日の発表があつてから、どのような対応を取ろうかという方針でおりました。議会の皆様と学校関係者と町当局と一緒に頑張って対応していきたい。

質問 分校へ来てくれるように、通学費の補助等を町で出すなどの前向きな方向で考えてはどうか。

教育委員会事務局長 町外の生徒へ対しての補助は考えておりません。

昨日、町長も答弁したとおり、仮に南伊豆分校、今回覆つ

たとしてもいずれ、早い時期に南伊豆分校存続は難しくなると考えております。

質問 今の答弁は、県の教育委員会の答弁です。将来的になくなるというのは県の話です。私らが勝手に推測してやる話じゃなくて、未来永劫残そうという気持ちでいかなきゃ、残りませんよ、残す方向で動かなきゃいけないし、やることはやらなきゃしょうがないですよ。なくなるのが当たり前だから適当にやりましょう。それだと、町の人がついてきませんよ。

県は、地元に対しての説明は何もないのですか。

教育長 県が説明するべきで、県の方針、今後の方針、閉校にするまでの方針も伺ってはおりません。

町長 どこかのタイミングで県から、住民説明会なのかどうという形で説明があると私は理解しています。

産業振興の取組

質問 町内の産業が発展しなければ、町が発展していかない。

町長 町と商工会は、3つの目標に基づく事業者支援に取り組むため、新たな経営発達支援計画を策定し、本年4月から5か年計画でスタートしております。

議員発議の意見書を可決しました。

静岡県立下田高等学校南伊豆分校の存続を求める意見書

静岡県教育委員会は、令和11年度をもって静岡県立下田高等学校南伊豆分校を閉校とする方針を示した。しかし、南伊豆分校は南伊豆町をはじめとする賀茂地域における高等教育の中核として、長年にわたり地域の発展と人材育成に大きく貢献してきた。この教育拠点を失うことは、地域の将来に深刻な影響を及ぼすものである。

1. 教育機会の確保

南伊豆分校の閉校は、地域の高校進学機会を著しく制約し、教育格差を拡大させるおそれがある。(抜粋)

2. 地域定住と人口維持への影響

高校の存在は、地域における若年層の定住や子育て世帯の流出防止に大きく寄与している。(抜粋)

3. 地域に根差した特色ある教育活動

南伊豆分校では、地元自治体・企業・住民と連携した地域探求学習や地域貢献活動など、地域の特性を活かした教育が行われている。(抜粋)

4. 地域振興と教育再生の拠点としての可能性

南伊豆分校を単に存続させるだけでなく、地域資源を活かした学科や探求プログラムを展開することで、県の教育モデル校としての発展が期待できる。(抜粋)

以上の理由から、南伊豆町議会は、静岡県に対し、南伊豆分校の閉校方針を再考し、地域の教育機会の確保と将来の地域づくりのために、南伊豆分校の存続及び教育機能の維持・充実を強く求めるものである。

12月25日県教育委員会へ意見書を提出してきました。



池上教育長（左）、意見書を手渡す比野下議長（右）

第3回南伊豆町議会臨時会を12月22日に開催しました。

令和7年第3回南伊豆町議会臨時会採択一覧表

No.	議案番号	提出議案	審議結果	安藤 広和	岩田 稔	大年 美文	黒田 利貴男	渡邊 哲	宮田 和彦	長田 美喜彦	稲葉 勝男	清水 清一	齋藤 要
1	議第109号	南伊豆地域清掃施設組合同規約の一部を変更する規約について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	議第110号	南伊豆地域清掃施設組合の解散について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	議第111号	南伊豆地域清掃施設組合の解散に伴う財産処分について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	議第112号	令和7年度南伊豆町一般会計補正予算（第7号）	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 反対：×

※議長 比野下文男は採決に加わっておりません。

12月26日道の駅湯の花で、分校の存続を求める署名活動を行いました。



署名活動にご協力いただいた皆様ありがとうございました。

南伊豆町議会視察研修

11月5日～6日、埼玉県寄居町、神奈川県大磯町に視察研修へ行きました。今回の目的は、一般廃棄物処理先及び先進リサイクル施設の現地確認及び研修視察として、町の可燃ごみの全量搬出先である埼玉県にあるオリックス資源循環株式会社及び神奈川県大磯町にある可燃ごみ中継施設の現地確認、担当者等と意見交換・質疑応答を実施しました。

◎オリックス資源循環株式会社

埼玉県が彩の国資源循環工場として持続可能な発展と資源循環型社会の形成を目指す目的で計画し、企業を誘致し、PFI事業として2006年から運営を開始した施設であり、受け入れた廃棄物を熱分解ガス化改質方式により廃棄物が完全に再資源化される施設である。

大規模な施設であり、新施設も今後完成することから全量搬出を行う相手方としては、適正な事業者であることが確認できた。

また、大規模災害時などの対応についての質問に対して安心できる体制が整っているとのことであったが、有事の際の海上輸送は津波の被害が想定される当町では、一考する事が大事になると思われる。新施設では、災害廃棄物処理先としても対応できるとのことで、有事の際の廃棄物の処理先としても大いに期待できるものであった。



◎大磯町リサイクルセンター

大磯町から排出される可燃ごみを大型車輛に積み替え、平塚市へ効率よく運搬を行うための中継施設と、容器包装プラスチック、ペットボトルを貯留し、圧縮梱包機で圧縮する施設の視察を行った。

搬入される可燃ごみを受け入れホッパーで受け、コンパクトにて圧縮し、クローズドコンテナで圧縮するものであり、限られた容量に効率よく積み込みを行え、現在の当町の可燃ごみ全量搬出で懸念されるにおいや害虫の問題などもクリアされており、南伊豆町より可燃ごみの発生量は多いものの外部搬出を今後継続して進めていくためには必要な施設であると認識した。特に、廃プラスチックの分別については議員自身も含め町民への周知が、今以上に重要になると考えさせられた。

議 会 報 告 会



令和7年11月26日に第1回議会報告会を実施いたしました。令和6年度の主要決算報告や埼玉県寄居町にあるゴミ全量搬出先のオリックス資源循環(株)、神奈川県大磯町美化センター等の議会視察報告後、皆様からのご意見、ご質問をいただき意見交換の時間を設けさせていただきました。その中で、観光客激減への対策、津波に備えた津波避難タワーの建設、危険空き家への早急な対応と行政執行の検討、県道の雑木伐採、道路整備、海岸景観の改善、港湾の浚渫と堆積土問題の解決、橋の耐震状況の調査、各地区への非常食の均等配布、災害時の備えとして自家発電機購入補助、災害時の海のルート整備や弓ヶ浜、国立病院跡地を利用して地域活性化に繋げてほしい等の要望がありました。また、議員定数削減をなぜ発議しないのか、人口減に応じて議員定数を見直すべき、夜桜イルミネーションの500万円以上使う必要があるのか、プレミアム商品券を何度も発行するのは適切か等のご意見やご質問がありました。皆様の熱い貴重なご意見、ご要望は今後の議会活動に活かしてまいりたいと考えています。ありがとうございました。

議 会 改 革 推 進 会 議

議会改革推進会議を発足させました！

この会議は、「南伊豆町議会基本条例」令和7年11月1日施行に伴い町民の皆様のご意見等を広く収集し、議会運営の更なる活性化及び町政運営への提言を図るため、これまで以上に真摯に課題へ向き合うことを目的とする会議体です。

昨年、11月26日に開催させていただきました「議会報告会」においても、参加者の皆様より様々な分野へのご意見、課題を頂きましたので町にとって今、何が必要なのか議会はそれに向かい何ができるのかを全議員で検討してまいります。

今後とも、町民の皆様の変わらぬ議会へのご理解、ご支援を頂ければ幸いです。
併せて、議会へご意見等を頂ければと思いますので宜しくお願いたします。

未来を担う子ども達

新たな使命を持って

令和8年4月1日、本町唯一の中学校となる新南伊豆中学校が誕生します。校舎、校地は現行の南伊豆東中学校を改修して活用します。外壁をすべて塗装し直し、グラウンドも盛り土、整地をし直しておりますので、あたかも新しい学校ができたかのように見て取れるかと思えます。

思い返せば、私が竹麻中学校を卒業した昭和45年3月には、本町には6校の中学校がありました。南中学校、三坂中学校、南上中学校、三浜中学校、南崎中学校、竹麻中学校です。かつて南賀六ヶ村と言われた時代がありましたが、そのそれぞれに中学校が存在していた訳です。

それから55年の歳月が流れ、とうとう1校になります。地域から学校がなくなるのは寂しいという声をよく耳にしますが、この新制南伊豆中学校の学区は南伊豆町全体なので、町全体が一つの地域です。

「町が学校を創る」と言います。また「学校づくりは町づくり」という言葉もあります。新しく生まれる南伊豆中学校は、生徒の学習・生活の場であることは言うまでもありません。そのため充実した教育活動を存分に行える場であるとともに、豊かな人間性を育むのにふさわしい、快適で十分な安全性や防災性、防犯性等の環境を備えた安心・安全なものでなければなりません。また、地域住民の皆様にとっても最も身近で、生涯学習活動や地域住民の交流等が行われる拠点であり、災害時には避難所としての重要な役割も担っています。地域の皆様には是非この学校にすすんで足を運んでいただきたいと思えます。

南伊豆中学校と南伊豆東中学校が統合して生まれる新中学校において、それぞれの中学校が長年にわたって育んできた学校文化が融合し、これぞ南伊豆と自慢のできる新しい校風を生み出して欲しいと願っています。

地域の皆様におかれましては、今後ともご指導、ご鞭撻の程よろしくお願いたします。

南伊豆町教育委員会教育長 佐野 薫



南伊豆中学校
校章

南伊豆東中学校
校章

新南伊豆中学校
校章

議会一口メモ

議会一口メモとは

議会一口メモとは、議会で使われる専門用語や、議会の仕組みを分かりやすく解説したもので、これらは議会運営の効率化や透明性を保つためのルールや手続きです。

主な議会用語の例

上程（じょうてい）：議案などを本会議で議題として取り扱うこと。

質疑（しつぎ）：提出された議案や報告内容について、提出

者などに疑問点を尋ねること（意見は言えない）。

一括議題（いっかつぎだい）：複数の関連議案をまとめて議題にし、効率的に審議すること。

動議（どうぎ）：議会の進行に関する発議で、議員が提案する（例：修正動議など）。

会議録（かいぎろく）：会議の日時、出席者、発言内容などを記録した公文書（議事公開のため）。

本会議（ほんかいぎ）：全議員で構成され、議案の審議や一般質問などが行われる会議等です。

皆様の議会傍聴をお待ちしています。

「議員必携」より抜粋（宮田）



町制施行70周年イベントとして、10年ぶりに「夜桜☆流れ星」が復活します。青野川にLEDを光源とする青い光の玉「いのり星」を流し、ライトアップされた夜桜とのコラボは幻想的で、まさに天の川といった感じの光景でした。2013年から宿泊客を増やしたい、夜桜の素晴らしさを知ってもらいたい等の思いからの開催でしたが、予想を上回る反響で賑わいました。また、運営にあたっては、町内外からたくさんのボランティアが協力してくれ、皆で作りに上げたイベントとなり、終了後も復活を望む声が多く聞こえていました。

今回は20代の女性が、運営する企画制作会社に「小学生の時に見た光景が忘れられない、母として子供に見せたい」という思いを込めたメールから動き始め、開催が決まりました。夜桜ライトアップ、夜桜竹あかり、夜桜イルミネーション、夜桜☆流れ星を行うことにより、「夜桜も素晴らしい町」として、皆で売り出していくチャンスではないかと思えます。

（安藤）